一般社団法人　東京健康リハビリテーション
総合研究所　所長

東京大学名誉教授

武藤 芳照

（むとう　よしてる）

著作 一覧

（著書・編著書・監修・企画構成）

1981（昭和56）年
〜
2020（令和2）年

身体教育学

子どもとスポーツ

スポーツ医学

健康リハビリテーション

水泳・水

転倒予防

舞台医学

スポーツ・コンプライアンス

一般社団法人
東京健康リハビリテーション総合研究所

2020（令和2）年 6月1日版

東京健康リハビリテーション総合研究所にて（2019年6月）。

当研究所から東京大学の杜と東京スカイツリーを望む。

武藤 芳照（むとう よしてる）

昭和25(1950)年愛知県大府市生まれ。昭和40(1965)年愛知県立刈谷高校卒、昭和50(1975)年名古屋大学医学部卒業。東京厚生年金病院整形外科医長を経て、昭和56(1981)年より、東京大学教育学部助教授、平成5(1993)年同教授、平成7(1995)年同大学院教授、平成21(2009)年同大学院教育学研究科長・教育学部長。平成23(2011)年東京大学理事・副学長。平成25(2013)年4月日体大総合研究所所長、平成26(2014)年4月日本体育大学保健医療学部教授等を経て、平成30(2018)年4月より東京健康リハビリテーション研究所所長。東京大学名誉教授。医学博士。

(財)日本体育協会公認スポーツドクター。日本医師会認定健康スポーツ医。ロサンゼルス(1984年)・ソウル(1988年)・バルセロナ(1992年)各オリンピック水泳チームドクターを経て、国際水泳連盟医事委員(1992年～2000年)を務める。公益財団法人日本水泳連盟評議員。日本整形外科スポーツ医学会名誉会員。公益財団法人運動器の健康・日本協会業務執行理事、公益財団法人身体教育医学研究所名誉所長（長野県東御市）、日本転倒予防学会理事長。「健康のため水を飲もう推進委員会」(厚生労働省医薬・生活衛生局水道課後援)委員長。NPO法人水と健康スポーツ医学研究所(札幌市)副理事長、島根県雲南市名誉顧問、一般財団法人少林寺拳法連盟顧問、公益財団法人戸部眞紀財団理事。一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構代表理事。日本学生野球協会理事。新潟医療福祉大学顧問。第69回第一生命 保健文化賞(2017年10月)・第2回未来のいしずえ賞(KODAMA国際教育財団)(2019年2月)・日本整形外科学会功労賞（2019年5月）各受賞。

身体教育学

『じょうずになろうシリーズ（全5巻）』1981-86, p3
『からだを知る本シリーズ（全12巻）』1990-92, p6
『からだの理』1996, p7
『スポーツを科学するシリーズ（全5巻）』1996, p7
『からだを育む』1997, p7
『疲れる理由－現代人のための処方せん－』2000, p9
『からだの物語シリーズ（全4巻）』2002, p10
『よみがえれ風の子 －子供の体の育み方－』2002, p11

『マンガ運動器のおはなし
－大人も知らないからだの本－』2005, p11
『新訂現代身体教育論』2006, p12
『体動かせ いっぱい遊べ』2008, p12
『つくろう!元気なカラダ 良い姿勢と運動』2015, p15

『信州東御・ケアポートみまき
地域ぐるみのケアと予防の歩み 』2019, p17
『子供の足のトラブルを防ぐために
0歳から足育（あしいく）のすすめ』2020, p18

子どもとスポーツ

『スポーツ少年の危機』1985, p4
『子どもの成長とスポーツのしかた』1985, p4
『子どもの健康とたのしい運動』1986, p4
『スポーツ部活』1987, p4
『小・中学生への気になるスポーツ指導』1988, p5
『子どものスポーツ』1989, p5

『学校における運動器検診ハンドブック
－発育期のスポーツ傷害の予防－』2007, p12
『学校の運動器検診
－子どもの身体と障害の診かた』2018, p17

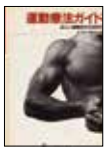
スポーツ医学

『ドミンゲス博士のスポーツ医学百科』1982, p3
『スポーツ痛5段階解決法 イーベテック』1984, p3
『高齢者とスポーツ』1986, p4
『子どものスポーツ医学』1987, p4
『女性のスポーツ事典』1989, p5

『スポーツと疲労骨折』1990, p5
『スポーツ救急の実際』1991, p6
『コーチングマニュアル スポーツ傷害』1991, p6
『新・子どものスポーツ医学』1997, p8
『スキーの医学』1995, p6
『新・ドーピングってなに?』シリーズ1996-97, p7
『女性のスポーツ医学』1996, p7
『スポーツトレーナーマニュアル』1996, p7
『中高年のスポーツ医学』1997, p8
『疲労骨折』1998, p8
『けが、故障を防ぐ部活指導の新視点』1999, p8
『スポーツ傷害のリハビリテーション
−Science and Practice−』2008, p12
『スポーツ医学実践ナビ
−スポーツ外傷・障害の予防とその対応−』2009, p13
『新 スポーツトレーナーマニュアル』2011, p14
『イラストと写真でわかる 武道のスポーツ医学 柔道』
2016, p15
『イラストと写真でわかる 武道のスポーツ医学 剣道』
2017, p16
『スポーツ傷害のリハビリテーション
−Science and Practice−（改訂第2版）』2017, p16
『イラストと写真でわかる 武道のスポーツ医学　少林寺拳法』2017, p17

健康リハビリテーション

『運動療法ガイド』1990, p5
『変形性膝関節症の運動・生活ガイド』1997, p7
『変形性脊椎症の運動・生活ガイド』1998, p8
『変形性膝関節症の運動・生活ガイド（第2版）』
1999, p8
『変形性股関節症の運動・生活ガイド（第2版）』
1999, p9
『運動療法ガイド（改訂第3版）』2000, p9
『変形性脊椎症・腰痛の運動・生活ガイド（第2版）』
2000, p9
『乳がん術後の運動・生活ガイド』2001, p9
『変形性脊椎症・腰痛の運動・生活ガイド（第3版）』
2001, p10
『変形性股関節症の運動・生活ガイド（第3版）』
2004, p11
『介護者の腰痛予防
−腰を守るための介護姿勢と環境整備』2005, p11
『変形性膝関節症の運動生活ガイド（第3版）』
2005, p11
『運動療法ガイド（改訂第4版）』2006, p11
『乳がん治療をめぐる運動・生活ガイド
-検診からリハビリまで-』2005, p12
『腰痛の運動・生活ガイド
運動療法と日常生活動作の手引き（第4版）』2007, p12
『変形性股関節症の運動・生活ガイド（第4版）』
2012, p14
『運動療法ガイド（改訂第5版）』2012, p14
『腰痛のサイン・鈍重感を見逃すな!
−腰のケアの基本 −』2019, p1



水泳・水

『水泳の医学』1982, p3
『水泳療法の理論と実際』1983, p3
『ダッフィールド・水治療法』1984, p3
『水泳医学百科』1987, p4
『水泳の医学Ⅱ』1989, p5
『Medicine and Science in Aquatic Sports』1994, p6
『患者指導のための水と健康ハンドブック
-科学的な飲水から水中運動まで-』2006, p11
『水泳プールでの重大事故を防ぐ』2007, p12
『水分と体 −体は水でできている−』2008, p12
『健康のため水を飲もう』2010, p13

転倒予防

『転倒予防教室−転倒予防への医学的対応−』1999, p9
『武藤教授の転ばぬ教室
―寝たきりにならないために―』2001, p10
『転倒予防教室
−転倒予防への医学的対応−（改訂第2版）』2002, p10
『転倒・骨折を防ぐ 簡単!運動レシピ』2005, p11
『転倒予防医学百科』2008, p12
『転倒予防らくらく実践ガイド』2009, p13
『ここまでできる高齢者の転倒予防』2010, p13
『認知症者の転倒予防とリスクマネジメント
−病院・施設・在宅でのケア−』2011, p14
『転倒予防いろはかるた』2012, p14
『これだけは知っておきたい「転倒予防の心がけ」』
2012, p14
『転倒予防 −転ばぬ先の杖と知恵−』2013, p15
『いくつになっても転ばない5つの習慣』2013, p15
『「転ばぬ体操」で100歳まで動ける』2014, p15
『認知症者の転倒予防とリスクマネジメント
−病院・施設・在宅でのケア−（第2版）』2014, p15
『多職種で取り組む転倒予防チームはこう作る!』
2016, p16
『五七五転ばぬ先の知恵ことば
−転倒予防川柳2011-15』2016, p16
『転倒予防白書2016』2016, p16
『転倒予防指導士公式テキストQ&A』2017, p16
『認認知者の転倒予防とリスクマネジメント
−病院・施設・在宅でのケア−（第3版）』2017, p17
『転倒予防白書2019』2019, p18

舞台医学

『舞台医学入門』2018, p17

スポーツ・コンプライアンス

『まんがでわかる みんなのスポーツ・コンプライアンス入門』2019, p17

1981 -

1

2

3

4

5

著書・編著書・監修・企画構成一覧

1981 -

1 『じょうずになろうシリーズ（全5巻）』
武藤芳照／深代千之／平野裕一／小田伸午／八田秀雄 共編
評論社　1981年～1986年刊

子どもが身につけておくことが望ましい基本的運動技能について、文化人類学、運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ医学等の様々な観点からの知見を解説しつつ、子どもの運動技能の伸ばし方と注意点をやさしく解説。

2 『水泳の医学』
武藤芳照 著　ブックハウスＨＤ　1982年刊

雑誌『トレーニング・ジャーナル』に毎月連載した内容を編集し、様々な水泳の医学的事象について、基礎的医学的解説から乳幼児、妊婦、ぜん息児の水泳等、指導上の注意点や水泳外傷・障害について解説。

3 『ドミンゲス博士のスポーツ医学百科』
武藤芳照 監訳　ブックハウスＨＤ　1982年刊

米国の著名なスポーツ整形外科医、ドミンゲス博士の著わしたスポーツ医学に関わる基本的理論のスポーツ外傷・傷害に関わるわかりやすい解説等を翻訳。

4 『水泳療法の理論と実際』
宮下充正／武藤芳照 共編　金原出版　1983年刊

水泳の医学的応用としての水中での運動療法の適応と禁忌、実際の方法と医学的注意について、各種疾患・障害毎に学術的、実践的に解説。

5 『スポーツ痛5段階解決法　イーベテック』
武藤芳照 監訳　ブックハウスＨＤ　1984年刊

スポーツに伴う各部位の痛みを、環境、速度、用具、技術等の発生要因による集積ととらえ、各種目、各部位毎にその原因と対処法を解説。

6 『ダッフィールド・水治療法』
宮下充正／武藤芳照／石原俊樹 共訳　杏林書院　1984年刊

リハビリテーション医学の分野で歴史的に長く愛用されている水治療法について、その基礎的理論から実際の方法・内容、注意点等を具体的に解説した原著を翻訳。

6

7

8

9

10

11

12

13

7 『スポーツ少年の危機』
武藤芳照 著　朝日新聞社　1985年刊

少年スポーツの現場で起きている様々な問題点を挙げ、その実態と背景・歴史的経緯、並びに改善策と具体的指導方法等を解説。

8 『子どもの成長とスポーツのしかた』
武藤芳照／深代千之／深代泰子 共著　築地書館　1985年刊

子どもの成長・発達の過程に即したスポーツの指導と実践の仕方、間違ったスポーツトレーニング等について解説。

9 『高齢者とスポーツ』
宮下充正／武藤芳照 共編著　東京大学出版会　1986年刊

高齢社会の到来に伴う高齢者の身体運動、高齢者のスポーツの社会的意義と共に、高齢者の運動適応とスポーツ障害、運動指導の方法等について解説。

10 『子どもの健康とたのしい運動』
武藤芳照 著　築地書館　1986年刊

講演の内容を整理してまとめた書。子どもの健康づくりのための運動・スポーツのあり方や間違った運動、トレーニング、子どものスポーツ障害をわかりやすく解説。

11 『子どものスポーツ医学』
宮下充正／武藤芳照／小林寛伊 共編著　南江堂　1987年刊

子どもの心身の特性に即して合理的で安全な運動・スポーツ指導の方法と内容と医学的注意、各種疾患・障害を有する子どもの運動・スポーツ実践プログラムの注意、子どものスポーツ外傷・障害、スポーツに伴う疾患・事故の特徴と予防対策等を解説。

12 『スポーツ部活』　1987年刊
今橋盛勝／朴量俶／藤田昌士／武藤芳照 共編著　草土文化

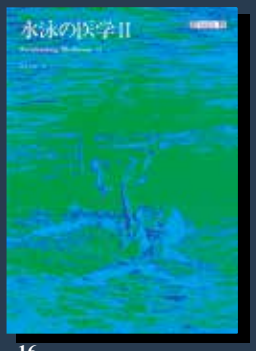
小・中・高等学校での運動部活動の様々な課題について、教育学、教育行政学、社会教育学、身体教育学等の観点から分析・解説。

13 『水泳医学百科』
日本水泳連盟科学技術委員会 編　南江堂　1987年刊

日本水泳連盟が開催してきた「水泳医・科学シンポジウム」で取り上げた様々な課題と講演内容を整理して、子ども、女性、中高年、競泳、シンクロナイズド・スイミング等の指導に関わるスポーツ医学、スポーツ科学、指導論等の知見をまとめたもの。（企画・編集・構成を担当）

14

15



16

17

18

19

14 『小・中学生への気になるスポーツ指導』
武藤芳照 著　草土文化　1988年刊

小・中学生のスポーツ指導の方法・内容での問題、特に間違った指導方法を列記し、そのスポーツ医学的分析と本来のスポーツ指導のあり方を解説。

15 『子どものスポーツ』
武藤芳照 著　東京大学出版会　1989年刊

子どものスポーツに関わる現代社会の問題点について、医学、教育、文化等の観点から分析、論考、解説し、歴史的推移を示す。

16 『水泳の医学 II』
武藤芳照 著　ブックハウスＨＤ　1989年刊

第１巻に引き続いて、水泳の医学的事象、マスターズ水泳、でき水、チームドクター活動、アンチ・ドーピング、サーフィン等の話題について、実践的に解説。

17 『女性のスポーツ事典』
武藤芳照 編著　三省堂　1989年刊

女性のスポーツに関わる運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ医学、文化人類学、スポーツ社会学等の科学的事項からスポーツ実践上の様々な事項について個別的に解説。

18 『運動療法ガイド』
宮下充正／武藤芳照 共編　日本医事新報社　1990年刊

運動療法を行うに当たって、身につけておくべき基礎的生理学知識から、実際の応用、疾患・障害別の運動療法プログラムと医学的注意等を解説。

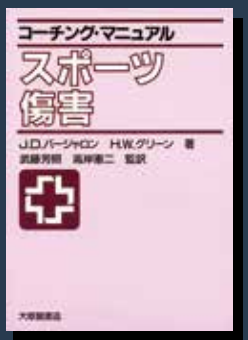
19 『スポーツと疲労骨折』
武藤芳照／伊藤晴夫／片山直樹 共編　南江堂　1990年刊

スポーツに伴う疲労骨折について、総括的に発生要因と実態を述べると共に各部位別・各種目別に発生要因と特徴、予防方法を解説し、国内外の症例を網羅して一覧表に整理した。

20

1991 -

21



22

23

24

20

20　『からだを知る本シリーズ（全12巻）**』**
武藤芳照 監修　草土文化　1990年～1992年刊

小学生低学年でも理解しやすいように、大切なことをわかりやすく、面白く語る手法で、解剖生理学、保健体育、スポーツ医学の観点から各事項を解説。

『１－がいこつだぞ－骨と筋肉』	1990
『２－むし歯はいやだよ－歯』	1990
『３－あっ血が出ている－血と血管』	1991
『４－おしっこのふしぎ－尿と腎臓』	1991
『５－胸がドキドキ－心臓と肺』	1991
『６－食べ物とうんち－消化器と肝臓』	1991
『７－見える？見えた－目』	1991
『８－聞いたり、かいだり－耳と鼻』	1992
『９－おはだはすべすべか－皮膚』	1992
『10－いのちってなんだ－生命と細胞』	1992
『11－脳みそは考えた－脳と神経』	1992
『12－おとなに聞きにくい話－性と生殖』	1992

1991 -

21　『スポーツ救急の実際』
武藤芳照／浅井利夫 共編　中外医学社　1991年刊

スポーツ現場で発生する救急処置が必要な外傷、事故について、その内容を示すと共に、具体的な救急処置の方法と注意点を解説。

22　『コーチングマニュアル　スポーツ傷害』
武藤芳照／高岸憲二 共監訳　大修館書店　1991年刊

スポーツコーチの立場で、知っておくべきスポーツ外傷・障害の実態、特徴、原因、予防方法等を個別的、具体的に解説。

23　『Medicine and Science in Aquatic Sports』
Editor(s): Miyashita, M.　Mutoh, Y.　Richardson, A.B.
Karger Publishers　1994年刊

第10回世界水泳医学会議（国際水泳連盟主催、日本水泳連盟主管、1993年10月、京都市）の会議録。31カ国から180人の参加があった。特別講演や指定講演、優れた一般発表等の内容を収録。

24　『スキーの医学』
石井清一／菅原誠／武藤芳照 共編　南江堂　1995年刊

徳島市で行われたスポーツ医学の学会の懇親会の折に集まった武藤と札幌医大の編者と主な執筆者が「一緒に新しい本を作ろう」と盛り上がって、わずか1年余りで仕上げたスキーのスポーツ医学の本格的な解説書。

25

26

27

28

29

25 『新ドーピングってなに?』シリーズ1996・97年刊
武藤芳照／日本水泳連盟 共編　ブックハウスＨＤ

他の競技団体に先がけて、日本水泳連盟が選手、コーチ、保護者等に向けて作製したアンチ・ドーピングの教育・啓発冊子。Q&A方式で、選手、コーチらの疑問に答える形で、「ドーピング検査はスポーツの健康診断」であることを強調。（企画・構成・執筆を担当）

26 『女性のスポーツ医学』
越野立夫／武藤芳照／定本朋子 共編　南江堂　1996年刊

女性の身体特性、女性とスポーツの歴史と文化的背景、女性のスポーツの実践方法と注意、女性のスポーツ外傷・障害、スポーツに伴う疾患・事故の特徴とその予防法対策などを解説。

27 『からだの理』
武藤芳照 編　丸善　1996年刊

見る、聞く、痛み、血液、酔う、疲れる、消化器、ホルモン、皮膚、尿等について、解剖生理学と文化的観点から解説。

28 『スポーツトレーナーマニュアル』
武藤芳照／村井貞夫／鹿倉二郎 共編　南江堂　1996年刊

スポーツ・トレーナーの歴史、役割、実際の活動に当たって知っておくべきスポーツ医学的理論と実践上の手技、注意点を部位別・種目別、外傷・障害への対応を解説。

29 『スポーツを科学するシリーズ（全5巻）**』**
武藤芳照 監修　大月書店　1996年刊

小・中学生が理解しやすいように様々な工夫をしつつ、スポーツ科学の最新知見と注意点を解説。大学院ゼミの成果物。
①『からだが動くメカニズム』 ②『からだはまだまだ未完成』 ③『トレーニングに科学を』 ④『スポーツ障害を知る』 ⑤『スポーツは科学だ』

30 『変形性膝関節症の運動・生活ガイド』
杉岡洋一／武藤芳照／伊藤晴夫 共編
日本医事新報社　1997年刊

中高年女性に多くみられる変形性膝関節症の発生要因と病態、診断、治療方法と内容。手術法と術後のケア、リハビリテーション、特に運動療法（陸上、水中）のプログラムと日常生活上の工夫と注意点を解説。

31 『からだを育む』
武藤芳照／太田美穂 共著　丸善　1997年刊

子ども、女性、高齢者、障害者、スポーツ選手等について、それぞれのからだを育むあり方と現代的課題について論考しつつ、本来の体育とは何かを展望する。

30

31

32

33

34

35

36

37

32 『中高年のスポーツ医学』
田島直也／武藤芳照／佐野忠弘 共編　南江堂　1997年刊

中高年の身体特性、実際の運動・スポーツの方法・内容と注意、中高年のスポーツ外傷・障害、スポーツに伴う疾患・事故の特徴と予防対策を解説。

33 『変形性脊椎症の運動・生活ガイド』
菊地臣一／武藤芳照／伊藤晴夫 共編
日本医事新報社　1998年刊

中高年の腰痛の主体となる変形性脊椎症の病態と特徴、診断、治療方法と内容、リハビリテーション、特に運動療法 (陸上、水中) と日常生活上の工夫と注意等を解説。

34 『疲労骨折』
武藤芳照 編　文光堂　1998年刊

文部省（当時）科学研究費により実施した全国規模のスポーツによる疲労骨折の実態調査の結果について概説すると共に、その発生要因と予防方法等を解説し、特に社会心理学的観点からの対応の必要性を強調した。

35 『新・子どものスポーツ医学』
井形高明／武藤芳照／浅井利夫 共編　南江堂　1997年刊

新たな編集者の企画の下、初版よりもさらに医学的な観点を深め、子どもの疾患に即した具体的スポーツの指導方法と内容、医学的注意等を解説。

36 『けが、故障を防ぐ部活指導の新視点』
武藤芳照／太田美穂 共編著　ぎょうせい　1999年刊

中・高等学校の運動部活動における問題点を列記し、身体教育学・スポーツ医学・リハビリテーション医学の観点から分析し、その解決策「子どもの原っぱでの遊び」というキーワードにより提示。

37『変形性膝関節症の運動・生活ガイド（第2版）**』**
武藤芳照／杉岡洋一／黒澤尚／伊藤晴夫 共編
日本医事新報社　1999年刊

初版本の内容に新たな知見を加えると共によりわかりやすい解説を心がけて改訂したもの。

38

39

40

2001 -

41

42

43

38 『転倒予防教室 －転倒予防への医学的対応－』
武藤芳照／黒柳律雄／上野勝則／太田美穂 共編
日本医事新報社　1999年刊

東京厚生年金病院で創設した日本初の「転倒予防教室」のノウハウの全てを整理して、その企画・運営、メディカルチェック、体力評価、運動・生活指導の方法と注意等を解説。

39 『変形性股関節症の運動・生活ガイド（第2版）』
杉岡洋一／岩田久／武藤芳照／伊藤晴夫 共編
日本医事新報社　1999年刊

初版本の内容・構成に、患者さんの視点に立って、より理解しやすい表現、工夫を加えて改訂したもの。

40 『運動療法ガイド（改訂第3版）』
井上一／武藤芳照／福田潤 共編著
日本医事新報社　2000年刊

新たな編集者の下、より医学的視点を加えて、各種疾患・障害等の運動療法の方法・内容の項目を増加させると共に、ストレッチング、水中運動、靴の選び方等の具体的方法についても解説。

41 『疲れる理由 －現代人のための処方せん－』
武藤芳照／山本義春 共監訳 日経ＢＰ 2000年刊

慢性疲労症候群の病態、症状、治療、予防並びに現代人の疲労について解説。

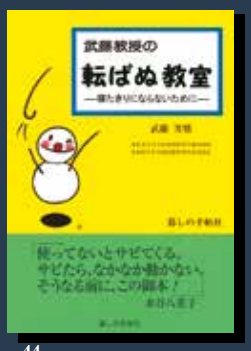
42 『変形性脊椎症・腰痛の運動・生活ガイド（第2版）』
菊地臣一／武藤芳照／伊藤晴夫 共著
日本医事新報社　2000年刊

初版本のタイトルに、「腰痛」を加え、編者の一人に腰痛の第一人者にも新たに参画していただき、より幅広くより深い内容とわかりやすさを工夫して改訂したもの。

2001 -

43 『乳がん術後の運動・生活ガイド』
岡崎邦泰／森本忠興／武藤芳照 共編
日本医事新報社　2001年刊

乳がんの手術を受けたあるいはこれから受ける患者さんの立場で、その診断、治療方法と内容、手術の方法、術後のリハビリテーションと日常生活上のケアと注意、術後の運動療法、特に水中運動療法の具体的方法と注意を解説。



44

45

46

47

44『武藤教授の転ばぬ教室
—寝たきりにならないために—』
武藤芳照 著　暮しの手帖社　2001年刊

「人が転ぶ」ということを様々な視点・場面から示し、それを分析・解説し、転倒の本質と実態、転倒予防の必要性、転倒予防のための運動プログラム、生活上の工夫と注意を解説。

45『変形性脊椎症・腰痛の運動・生活ガイド（第3版）』
菊地臣一／武藤芳照／伊藤晴夫 共著
日本医事新報社　2001年刊

第２版の内容に、さらに新たな知見や臨床現場、生活の場面で必要な患者さんのための情報や注意点を加えて改訂したもの。

46 『転倒予防教室
－転倒予防への医学的対応－（改訂第2版）』
武藤芳照／黒柳律雄／上野勝則／太田美穂 共編
日本医事新報社　2002年刊

初版の内容に加えて、「転倒予防教室」の指導実践の積み重ねより得られた学術的データ、運動指導上の工夫と注意、各種教育・指導方法と内容、教育資材等も含めて編集。

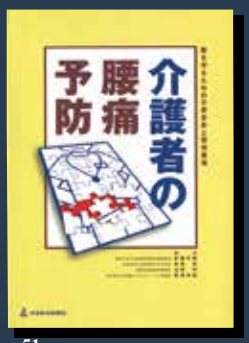
47 『からだの物語シリーズ（全4巻）』
武藤芳照 監修　学習研究社　2002年刊

小学生に理解しやすいような工夫をこらしつつ、解剖生理学、スポーツ医学、保健体育の観点から各事項を解説。
『①血液』
『②骨』
『③皮ふ』
『④目・耳・鼻・口』

48

49

50



51

52

53

54

55

48 『よみがえれ風の子 －子供の体の育み方－』
武藤芳照 著　中央公論新社　2002年刊

子どもの運動・スポーツ・体育のあり方と現代的課題、遊びの教育学的意義等を解説。

49 『変形性股関節症の運動・生活ガイド（第3版）**』**
杉岡洋一／岩田久／武藤芳照／伊藤晴夫 共編
日本医事新報社　2004年刊

変形性股関節の病態と特徴、診療方法と内容、日常生活上の工夫と注意を解説。

50 『マンガ運動器のおはなし －大人も知らないからだの本－』
武藤芳照 編　学習研究社　2005年刊

運動器とは、運動器の大切さ、正しい運動の仕方、間違ったトレーニング、食事・栄養の注意点、ストレッチング、筋力トレーニングの方法と注意等を学生の視点から解説。

51 『介護者の腰痛予防 －腰を守るための介護姿勢と環境整備－』
武藤芳照／田島寶／山田均／黒柳律夫 共編　日本医事新報社　2005年刊

要介護の高齢者のケアを行う介護専門職等が悩まされる腰痛の病態と特徴、原因と背景、その具体的対処法を解説。

52 『転倒・骨折を防ぐ 簡単！ 運動レシピ』
武藤芳照 監修　主婦の友社　2005年刊

一般家庭で、高齢者がその日から実践できる転倒予防のための運動プログラムの方法と内容と注意、生活上の工夫と注意等をイラスト・写真を多用にわかりやすく解説。

53 『変形性膝関節症の運動・生活ガイド（第3版）**』**
黒澤尚／武藤芳照／伊藤晴夫 共編
日本医事新報社　2005年刊

第２版の内容・構成に、最新の医学情報や運動・生活指導上の注意事項を加えて改訂したもの。

54 『運動療法ガイド（改訂第4版）**』**
井上一／武藤芳照／福田潤 共編著　日本医事新報社　2006年刊

第３版までの内容をさらに更新すると共に、新たに、転倒予防、テーピング等の項目を加えて解説。

55 『患者指導のための水と健康ハンドブック －科学的な飲水から水中運動まで－』　2006年刊
武藤芳照／太田美穂／田澤俊明／永島正紀 共編　日本医事新報社

水をからだの中に入れる側面とからだを水の中に入れる側面の両面から、水と健康に関わる医学的事象と脱水に伴う疾患・障害等について解説。

56

57

58

59

60

61

62

63

56 『乳がん治療をめぐる運動・生活ガイド
－検診からリハビリまで－』
岡崎邦泰／森本忠興／武藤芳照 共編　日本医事新報社　2006年刊

乳がんの病態と特徴、診断、各種治療方法と内容、特に種々の方法と術後の生活上のケアとリハビリテーション、水中運動療法、日常生活上の工夫と注意等について解説。

57 『新訂現代身体教育論』　2006年刊
武藤芳照／衞藤隆／山本義春 共編著　放送大学教育振興会

身体教育に包括される体育の意義、発達脳科学、運動学、教育生理学、文化人類学等を解説。

58 『学校における運動器検診ハンドブック
－発育期のスポーツ傷害の予防－』
武藤芳照／ 柏口新二／内尾祐司 共編　南江堂　2007年刊

学校での運動器検診を整備することが重要であること、その歴史的経緯、検診の実際の方法・内容・注意点等を解説。

59 『水泳プールでの重大事故を防ぐ』
日本水泳連盟 編　ブックハウスＨＤ　2007年刊

水泳に伴う重大事故のでき水と飛び込み事故による頚椎・頚髄損傷の実態、特徴、発生要因、予防方法、水泳指導上の注意点等を、実践的に解説。（企画・構成を担当）

60 『腰痛の運動・生活ガイド　運動療法と日常生活動作の手引き（第4版）**』**　2007年刊
菊地臣一／武藤芳照／伊藤晴夫 共編著　日本医事新報社

中高年の変形性脊椎症、腰部脊柱管狭窄症等、腰痛をきたす疾患・障害の特徴とその治療・リハビリテーション、予防のための運動療法、生活上の工夫等を実践的に解説。

61 『スポーツ傷害のリハビリテーション
－Science and Practice－』
山下敏彦／武藤芳照 共編　金原出版　2008年刊

スポーツ外傷・障害のリハビリテーションに当たって、その科学的理論と実践の方法・内容、注意点等を解説。

62 『転倒予防医学百科』
武藤芳照 編　日本医事新報社　2008年刊

高齢者から子どもの転倒予防まで、転倒をどのようにとらえるか、転倒・骨折の実態、転倒予防の理論と実際、薬剤と転倒との関係等を百科的に解説。

63 『体動かせ いっぱい遊べ』　かまくら春秋社 制作
日本医師会／日本学校保健会 監修　武藤芳照：構成
間部正志／赤塚不二夫／あべさより：まんが　2008年刊

遊び、運動・スポーツが子どもの心身の健全な成長・発達にとって、いかに大切であるか、一方注意すべきこと等を面白くわかりやすく解説。

64

65

66

67

68

69

64 『スポーツ医学実践ナビ
－スポーツ外傷・障害の予防とその対応－』
武藤芳照 編著　日本医事新報社　2009年刊

2008年会長を務めた日本整形外科スポーツ医学会学術集会の主要な講演、シンポジウム、パネルディスカッション等の内容を集め、スポーツ外傷・障害の予防に関わる専門的事項を解説する共に、スポーツ医学を志す者への案内役を果たす。

65 『転倒予防らくらく実践ガイド』
武藤芳照 監修　学習研究社　2009年刊

一般中高年者が手にとって、家庭、地域等で転倒・骨折・寝たきり予防のために実践することが勧められる運動プログラム、生活上の工夫、注意等を医学的に解説。

66 『学校の運動器疾患・障害に対する取り組みの手引き』
運動器の10年日本委員会（武藤芳照 企画／構成）監修
日本学校保健会　2009年刊

学校での児童生徒の健康診断における運動器検診の意義、方法・内容、スポーツ外傷・障害等について解説。

67 『水分と体　－体は水でできている－』
監修：日本医師会、日本学校保健会　構成：武藤芳照　まんが：鈴木太郎、やなせたかし、幸月さち子　制作：(株) かまくら春秋社　2009年刊

生理学、保健体育、スポーツ医学の立場から、からだにとって、水がいかに大切であるか、汗の意味、正しい水分摂取の方法、脱水・熱中症の怖さと予防方法等をマンガの形で解説。

68 『健康のため水を飲もう』
武藤芳照 著　水道産業新聞社　2010年刊

厚生労働省健康局水道課後援で繰り広げている社会キャンペーン「健康のため水を飲もう」推進委員会委員長としての立場から、健康のためにいかに水が大切であるか。脱水や水分不足による健康障害・事故、水にまつわる文化等を事典風に解説。

69 『ここまでできる高齢者の転倒予防』
武藤芳照 総監修　日本看護協会出版会　2010年刊

高齢者の転倒予防に関わる医療・介護・福祉・スポーツ等の分野の指導者・専門家向けに転倒予防の実践的理論と具体的な運動・生活指導の方法・内容・注意を解説。「川の流れのように」に合わせた太極拳風リズム体操のDVD付き。

2011 -

70

71

72

73

74

75

2011 -

70『変形性股関節症の運動・生活ガイド（第4版）』
松田達男／田中尚喜／武藤芳照 共編著　日本医事新報社　2012年刊

成人の変形性股関節症の病態と特徴、診断、各種治療・リハビリテーションの方法と内容、よく尋ねられる患者さんからの質問と回答を東京厚生年金病院での臨床実践を踏まえて、主にそのスタッフが解説。

71　『認知症者の転倒予防とリスクマネジメント
－病院・施設・在宅でのケア－』
武藤芳照／鈴木みずえ 共編　日本医事新報社　2011年刊

認知症のある高齢者の転倒予防について、どのように対応したらよいかという医療・看護・介護及び一般家庭・地域社会の現場での難題に対して、認知症の専門家と転倒予防・リスクマネジメント・リハビリテーション等の専門家が連携・協同して解説。

72　『新スポーツトレーナーマニュアル』
武藤芳照／鹿倉二郎／小林寛和 共編　南江堂　2011年刊

スポーツ現場でのトレーナーの立場と役割と活動の方法と内容、各種スポーツ種目別、部位別のスポーツ外傷・障害のケアの仕方、トレーナーが身につけておくべき技法等を総合的に解説。

73　『運動療法ガイド（改訂第5版）』
武藤芳照 監修 日本医事新報社 2012年刊

新たな編集者の企画の下、第４版までの構成・内容を一新すると共に、最新の運動療法の基礎知識、各種疾患・障害別の運動療法プログラムの適応と禁忌、その実際、運動療法に伴う事故予防等を解説。

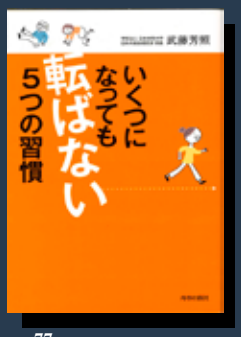
74　『転倒予防いろはかるた』
武藤芳照 企画・監修　2012年刊

転倒予防医学研究会で、全国から収集した転倒予防に関わる句をイラストと合わせてカルタの形式でまとめ、それぞれに転倒予防の立場からの理論の解説を付した。

75『これだけは知っておきたい「転倒予防の心がけ」』
武藤芳照 著　有限責任事業組合ブックエンド　2012年刊

毎日新聞に２年間連載したコラム記事を編集して、一般中高年者が身につけておくべき転倒予防のための健康管理、運動方法、生活上の工夫と注意等をわかりやすく解説。

76



77

78

79

80

81

76 『転倒予防――転ばぬ先の杖と知恵』
武藤芳照 著　岩波書店　2013年刊

老化は足から。転倒は命の黄色信号。いつまでも丈夫な足で歩きつづける、転んでもケガをしない。転倒に負けない身体づくりの基本を伝授。自信と希望をもち，生きる力を取りもどすために。

77 『いくつになっても「転ばない」5つの習慣』
武藤芳照 著　青春出版社　2013年刊

将来、寝たきりにならず一生自分の足で生きていくために、高齢者ばかりでなく、働き盛りの世代からの転倒予防の方法を具体的にまとめた。

78 『「転ばぬ体操」で100歳まで動ける! 』（主婦の友生活シリーズ）
武藤芳照 監修　主婦の友社　2014年刊

バランスを崩して転倒し、骨や筋肉を傷めると動けなくなり、全身の機能低下に直結。転ばない体作り、今から始めルためのアドバイスとヒントを図説。

79 『認知症者の転倒予防とリスクマネジメント <第2版>』
日本転倒予防学会 監修　武藤 芳照／鈴木 みずえ 編集
日本医事新報社社　2014年刊

病院・施設での認知症高齢者の転倒が深刻な問題になっている昨今。実践的Q & A形式で認知症の人・家族に対する具体的対応を述べ、医療関係者はもとより認知症の高齢者を抱える家族にとっても役立つ内容。

80 『つくろう!元気なカラダ!! 良い姿勢と運動器【DVD】』
武藤芳照 監修　上内哲男 実技指導　NHKエンタープライズ発行
東山書房　2015年刊

子どもたちの運動器と運動を大切にしつつ、一人ひとりの子どもが、明るく元気に過ごし、生涯にわたって「動くよろこび、動ける幸せ」を実感できる日々を、との願いを込めて製作したDVD。

81 『イラストと写真でわかる 武道のスポーツ医学 柔道』
武藤 芳照 監修　山下 敏彦／田中 康仁　編集
ベースボール・マガジン社　2016年刊

「中学校体育の柔道指導と外傷・障害、事故予防のポイント」をテーマに、安全管理・対策の現状、適切な指導・教育の方法、身体の各部位別のスポーツ外傷・障害の特性と治療・予防法、禁止すべき技・動作などについて解説。

82

83

84

85

86

87

82 『多職種で取り組む転倒予防チームはこう作る!』
日本転倒予防学会 監修　武藤芳照／鈴木みずえ／饗場郁子　共著
新興医学出版社　2016年刊

病院で、施設で、多職種連携の“転倒予防チーム”をつくり上げるためのヒントとその効果を各分野の転倒予防スペシャリストたちが融合することで生まれるチームの知恵と力。

83 『五七五 転ばぬ先の知恵ことば
— 転倒予防川柳　2011 − 15』
武藤芳照 選評　日本転倒予防学会 監修　論創社　2016年刊

傑作ぞろいの転倒予防川柳！　10月10日は「転倒予防の日」。日本転倒予防学会により公募が始まった2011年から15年までの入賞作を紹介すると共に医学的解説と楽しいイラストも加えた。

84 『転倒予防白書 2016』
日本転倒予防学会 監修　武藤 芳照／鈴木 みずえ ／原田 敦 編集
日本医事新報社　2016年刊

転倒・転落に関わる最新統計、疫学、各種取り組み、資格試験などの制度面から、患者指導、施設整備、リスク評価、運動療法などの臨床面までを網羅。

85 『イラストと写真でわかる 武道のスポーツ医学 剣道』
武藤 芳照 監修　山下 敏彦／田中 康仁　編集
ベースボール・マガジン社　2017年刊

「中学校体育の剣道指導と外傷・障害、事故予防のポイント」をテーマに、安全管理・対策の現状、適切な指導・教育の方法、身体の各部位別のスポーツ外傷・障害の特性と治療・予防法、禁止すべき技・動作などについて解説。

86 『スポーツ傷害のリハビリテーション
Science and Practice　第2版』
山下敏彦／武藤芳照 編集　金原出版　2017年刊

初版のコンセプトは踏襲しつつ，新章「アスレティックリハビリテーションの基本プログラム」「股関節・鼠径部のスポーツ傷害」を追加し，より実践的かつ最新の知見を反映した内容にアップデート。

87 『日本転倒予防学会認定 転倒予防指導士
公式テキストQ&A』
日本転倒予防学会 監修　武藤芳照／奥泉宏康／北湯口純 編著
新興医学出版社　2017年刊

日本転倒予防学会認定転倒予防指導士基礎講習会での各専門家による講義を骨格に、最新の知見と資料を示しつつ、認定試験の問題の重要ポイントも示す。

88

89

90

91

92

93

88 『イラストと写真でわかる **武道のスポーツ医学 少林寺拳法**』
武藤芳照 監修　山下敏彦／田中康仁　編集
ベースボール・マガジン社　2017年刊

「中学校体育の少林寺拳法指導と外傷・障害、事故予防のポイント」をテーマに、安全管理・対策の現状、適切な指導・教育の方法、身体の各部位別のスポーツ外傷・障害の特性と治療・予防法、禁止すべき技・動作などについて解説。

89 『**認知症者の転倒予防とリスクマネジメント** <第3版>』
日本転倒予防学会 監修　武藤芳照／原田 敦／鈴木みずえ 編集
日本医事新報社社　2017年刊

最新情報を加えアップデートし、さらに詳しく実践的な内容に。認知症高齢者の転倒予防に関わる病院、施設、地域医療、保健、福祉分野の専門職は手元に置いておきたい1冊。

90 『**舞台医学入門**』
武藤芳照 監修　山下敏彦／田中康仁／山本謙吾 編集
新興医学出版社　2018年刊

本邦初、舞台医学（Stage Medicine）の専門書。演劇・音楽・舞踏・各地の祭りなど、舞台芸術の医学的対応を学術的かつ実践的にわかりやすくまとめた入門書。

91 『**学校の運動器検診** 子どもの身体と障害の診かた』
運動器の健康・日本協会 監修　内尾祐司／高橋敏明／武藤芳照 編著
中外医学社　2018年刊

学校の健康診断に運動器の検査が加わった背景とその目的を示しつつ、実際の身体診察のポイントと，スクリーニングにより来院する子どもの運動障害の診かたを図や写真を多用してわかりやすく解説。

92 『まんがでわかる **みんなのスポーツ・コンプライアンス入門**』　学研プラス　2019年刊
スポーツ・コンプライアンス教育振興機構（代表理事／武藤芳照）作
梅屋敷ミタ／板垣翔子／景山まどか／木原飛鳥／尾野こし 漫画

「体罰」「ハラスメント」「ドーピング」「悪質・危険な行為」などは、なぜ起こったのか？　どうすれば防げたのか？
子どもから大人まで、スポーツを愛する人々に今届けたい「スポーツ・コンプライアンス」がまんがでわかりやすく理解できる入門書。

93 『信州東御・ケアポートみまき **地域ぐるみのケア と予防の歩み**』岡田真平／武藤芳照／飯島裕一　編
厚生科学研究所　2019年刊

「いつまでも健やかに生き生きと、安心して暮らし続けたい、その願いを叶える核となります」を理念に、長野県東御市にある保健・医療・福祉・スポーツの総合施設ケアポートみまきの四半世紀の記録。

94

95

96

97

98

99

94 『転倒予防白書2019』
日本転倒予防学会 監修　武藤芳照／鈴木みずえ／原田 敦 編集
日本医事新報社　2019年刊

前書 2016年版の構成・内容を基盤に、転倒予防に関わる最新の統計、学術知見、実践的内容に更新すると共に、新たに転倒についての古今東西の物語、言葉の解説等も巻末資料に加えて質・量共により進化した年鑑として編集された。

95 『腰痛のサイン・鈍重感を見逃すな!
ー腰のケアの基本 ー』
内田泰彦／黒柳律雄 著　久保谷智子 イラスト　武藤芳照 監修
論創社　2019年刊

ほとんどの人が一生の内、一度は経験するとされる腰痛。前兆として現れる鈍重感（どんじゅうかん）に注目することの大切さと、骨盤を主体とした徒手整復による新たな腰痛治療法を紹介した一般市民のための実用的医学解説書。

96『子どもの足のトラブルを防ぐために
0歳からの足育（あしいく）**のすすめ**』
武藤芳照 監修　玉島麻里／小野直洋／高山かおる 著
久保谷智子 イラスト　論創社　2020年５月発刊

「足育」の普及・啓発、足の大切さ、靴選びの基本、運動の大切さ、を幼少期から実践し、生涯にわたり、足下から健康作りを考える。子どもたちの輝かしい未来のために、足下から健康を育むために、家庭でも保育の現場でも必読の書。

97『医療と介護のための爪のケア 最新メソッド
ー巻き爪、陥入爪、爪白癬の正しい爪切りー』（仮題）
高山かおる／渡邉 洋／杉原 鼓 著　久保谷智子 イラスト
武藤芳照 監修　新興医学出版社　2020年7月発刊予定

98『歴史と川柳に学ぶ転ばぬ先の知恵
ーぬ・か・づけ転倒予防法のすすめー』（執筆中）
日本転倒予防学会 監修武藤芳照 編　論創社　2020年発刊予定

99『神経疾患患者の看護と介護のための転倒予防マニュアル』（仮題）
日本転倒予防学会 監修　饗場郁子／鮫島直之／武藤芳照 著
新興医学出版社　2021年発刊予定（準備調整中）

100『超高齢社会における整形外科スポーツ医学の役割』（仮題）
武藤芳照 著　南江堂　2021発刊予定（準備調整中）

101（予）『健康スポーツ医学・面白ゼミナール』（仮題）
武藤芳照 著　（企画調整中）

102（予）『まんがでわかる **健康リハビリテーション入門**』（仮題）　内田泰彦／高杉紳一郎／黒柳律雄／上内哲男 著武藤芳照 監修（企画構成中）

103（予）『大人も子どももみんな頭が痛い
ー頭痛の治療・ケア 最新メソッド ー』（仮題）
丹羽 潔 著　武藤芳照 監修　（企画調整中）

一般社団法人

東京健康リハビリテーション総合研究所

〒 113-0033 東京都文京区本郷 7-2-12 スカラグリジア 1001 号

Tel : 03-6801-5301
Fax : 03-3816-1139

Mail : info@kenko-reha.jp
Web : www.kenko-reha.jp